

和光純薬工業の買収による 富士フィルムの成長戦略

富士フィルムホールディングス株式会社

代表取締役会長・CEO

古森 重隆

2016年12月15日

6つのコア事業を中心にビジネスを拡大



和光純薬工業株式会社 概要

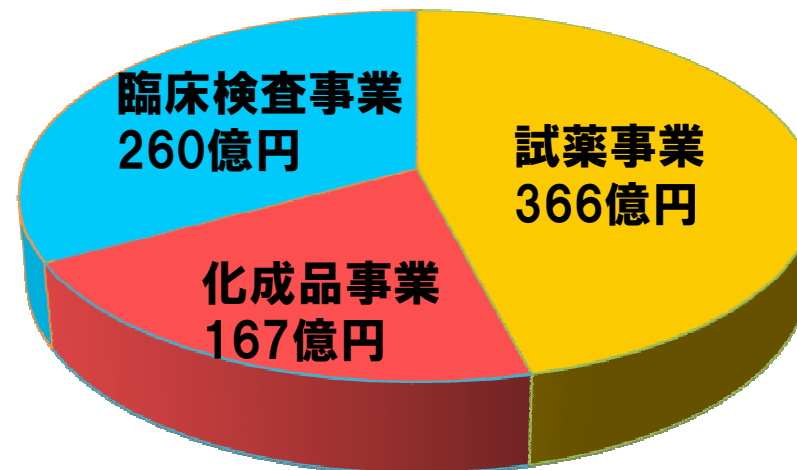
会社名: 和光純薬工業株式会社

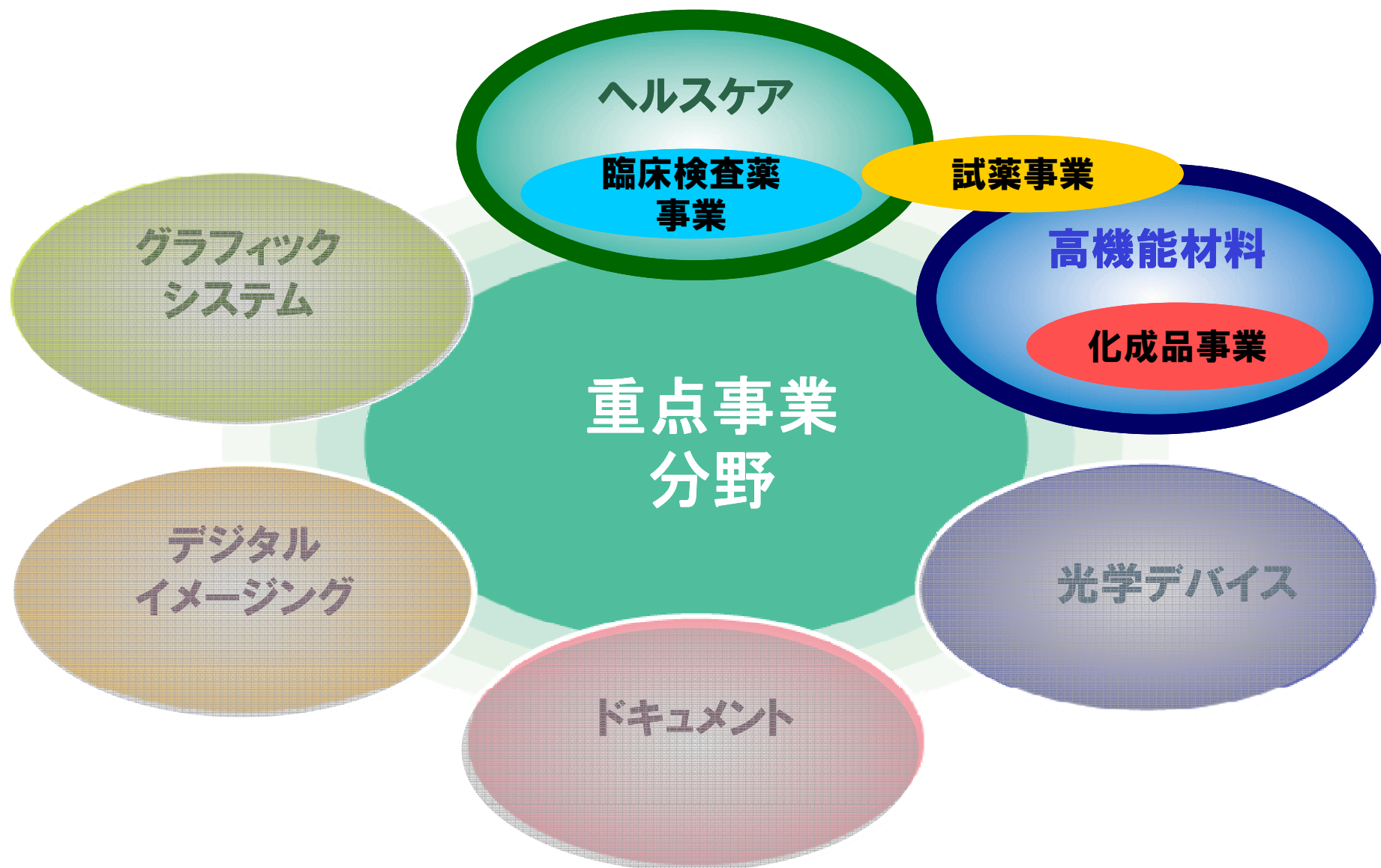
設立: 1922年(大正11年)

武田薬品工業の化学薬品部門を分離し、
「武田化学薬品株式会社」として発足

事業内容: 試薬、臨床検査薬及び化成品の製造・販売

売上高: 794億円(2015年度、連結ベース)





富士フイルムと和光純薬工業の技術を融合

ヘルスケア領域

- 再生医療分野での医療技術の進展
- 体外診断システムの普及による医療の質の向上
- 受託生産の拡大による高品質な医薬品の安定供給

産業用途領域

- 最先端の半導体産業の技術進歩への貢献
- 新規高機能材料の開発によるイノベーション創出

社会課題の解決へ

和光純薬工業の買収について

富士フイルムホールディングス株式会社

代表取締役社長・COO

助野 健児

2016年12月15日

和光純薬工業の事業内容

試薬事業 売上高 366億円(構成比46%)

- ✓ 細胞培養に関連した試薬
- ✓ 遺伝子・タンパク質研究に関連した試薬
- ✓ 環境・食品分野に関連した分析関連試薬
- ✓ 有機合成用の試薬など



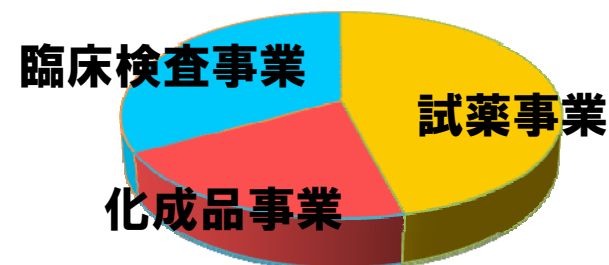
臨床検査薬事業 売上高260億円(構成比33%)

- ✓ 自動分析装置用生化学検査薬など
- ✓ 免疫システム及び微生物関連の試薬など



化成品事業 売上高167億円(構成比21%)

- ✓ 半導体材料(CMP用後洗浄剤等)
- ✓ 高吸水性樹脂向けアゾ重合開始剤
- ✓ 医薬中間体など



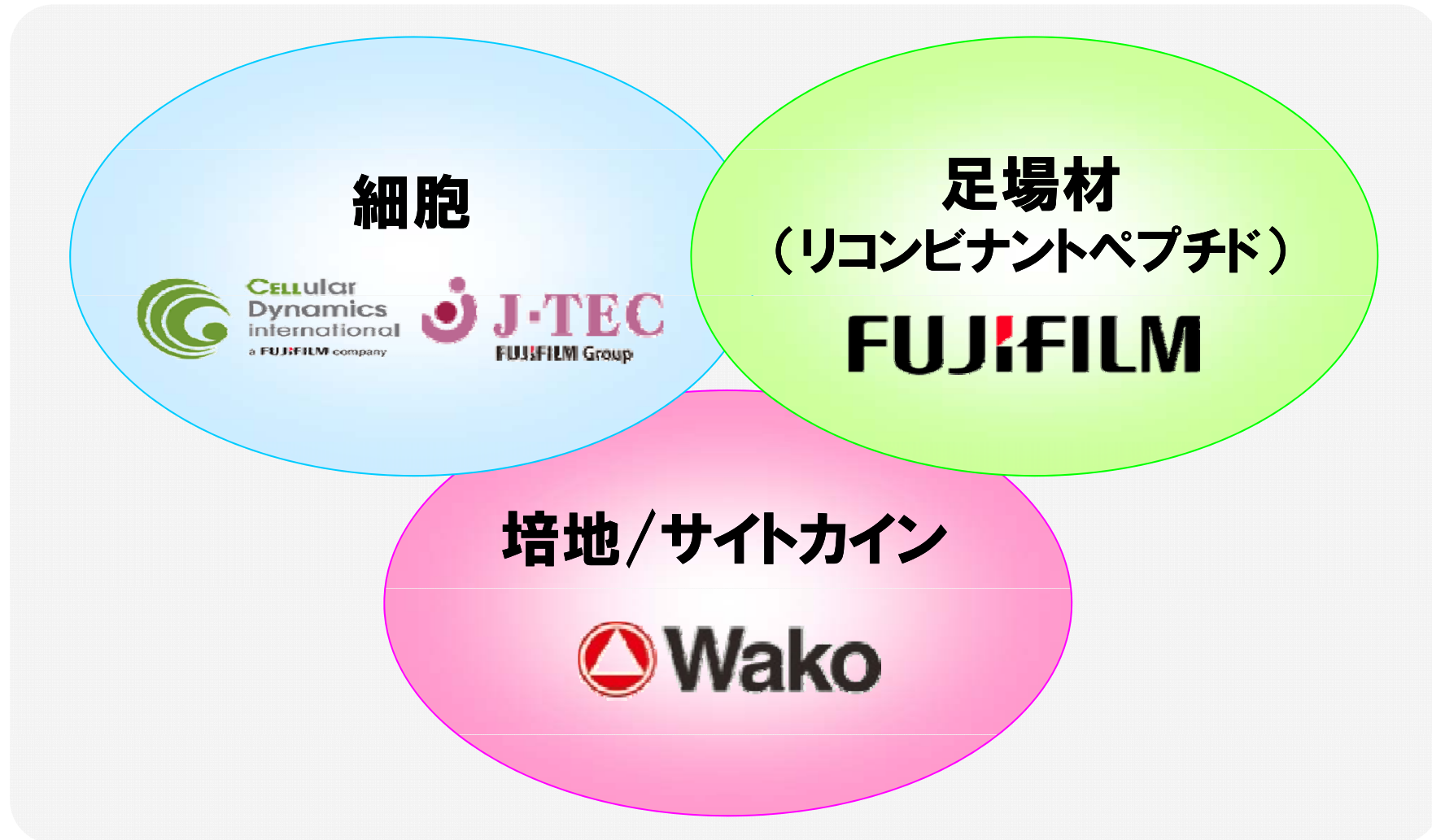
ヘルスケア事業の拡大

- ① 再生医療
- ② 体外診断
- ③ 医薬品の開発製造受託(CDMO)

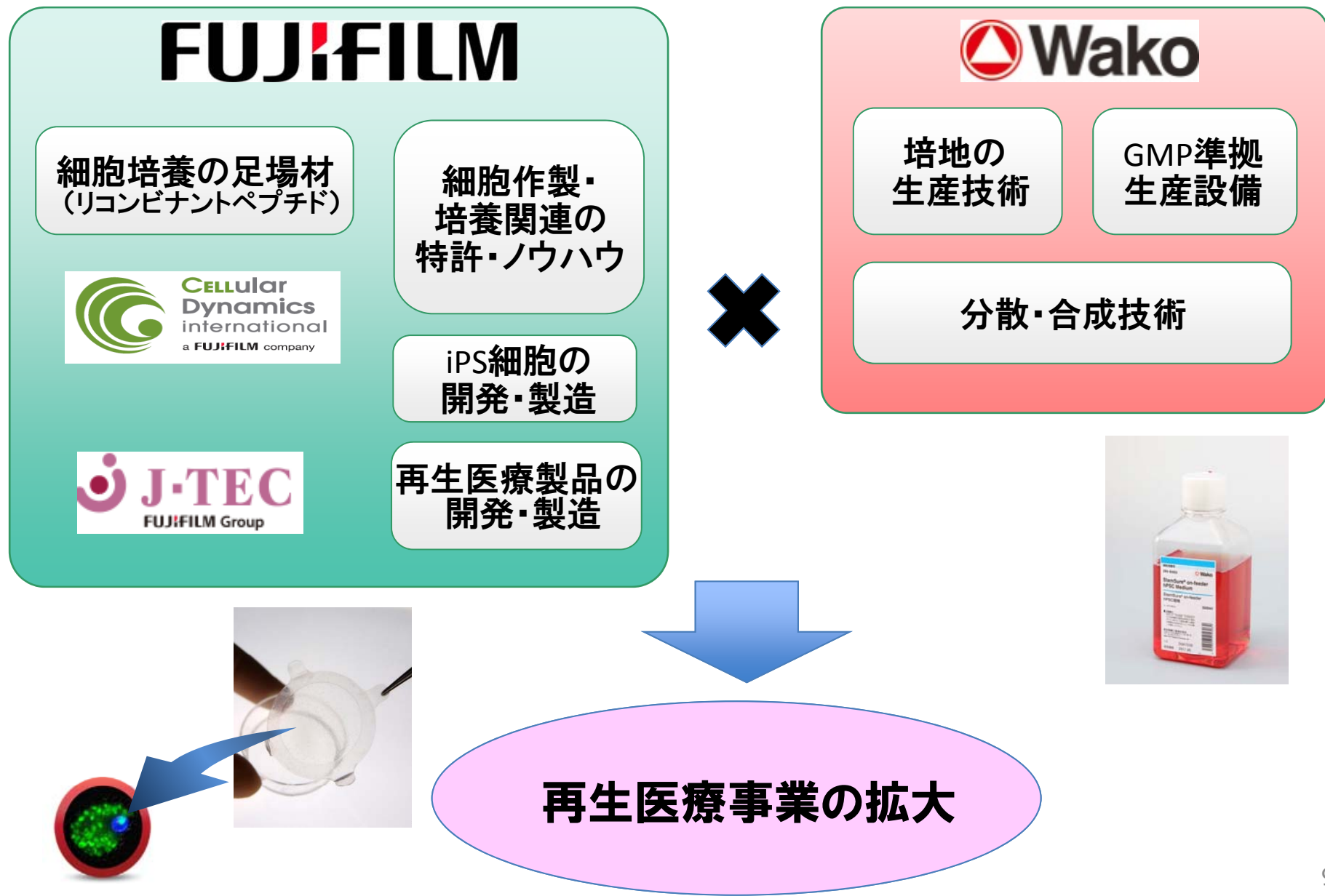
高機能材料事業の拡大

- ① 電子材料
- ② 産業機材

再生医療における3大要素



再生医療に必要な3大要素全て自社グループに保有



臨床化学分析
システム

免疫診断
システム

医療機器などの販売で
構築した海外ネットワーク



免疫分析装置

生化学分析
試薬

国内の検査施設へアクセス
できる広範な営業網



**体外診断製品の拡販
高機能体外診断製品の開発**

医薬品の開発製造受託分野(医薬品事業)

FUJIFILM

低分子医薬の
化学合成技術

バイオ医薬品の
生産技術

FUJIFILM
Diosynth
biotechnologies

バイオ医薬品の
開発製造受託

富士フィルム
ファインケミカルズ

低分子医薬品の
開発製造受託

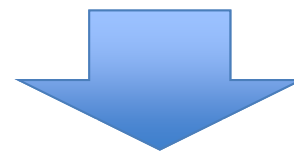


Wako

化学合成技術

培地の
生産技術

ニーズを吸い上げる
幅広い顧客網



医薬品の開発製造受託
(CDMO)の拡大

高機能材料事業(電子材料事業)

FUJIFILM

フトレジスト CMPスラリー

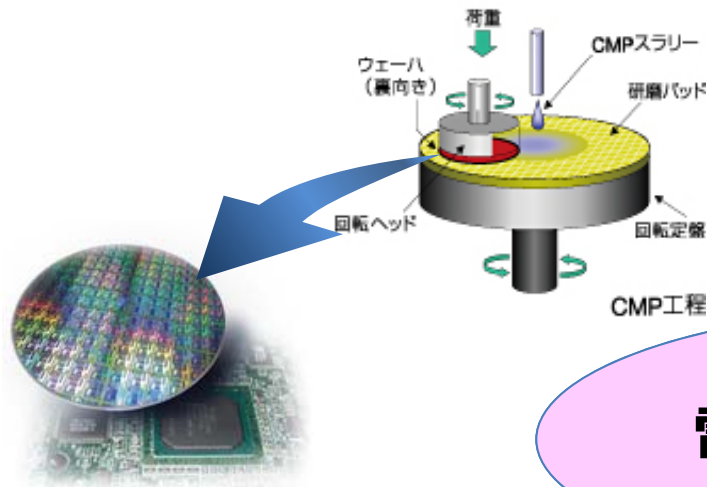
イメージセンサー用材料
など



Wako

高純度洗浄剤 高性能エッチング液

非イオン性界面活性剤
など



電子材料事業の成長

化学合成技術

解析技術

20万種の化合物ライブラリ

強固な海外ネットワーク



重合開始剤

豊富な高分子関連素材

国内外の化成品製造拠点



化成品ビジネスをグローバルに拡大

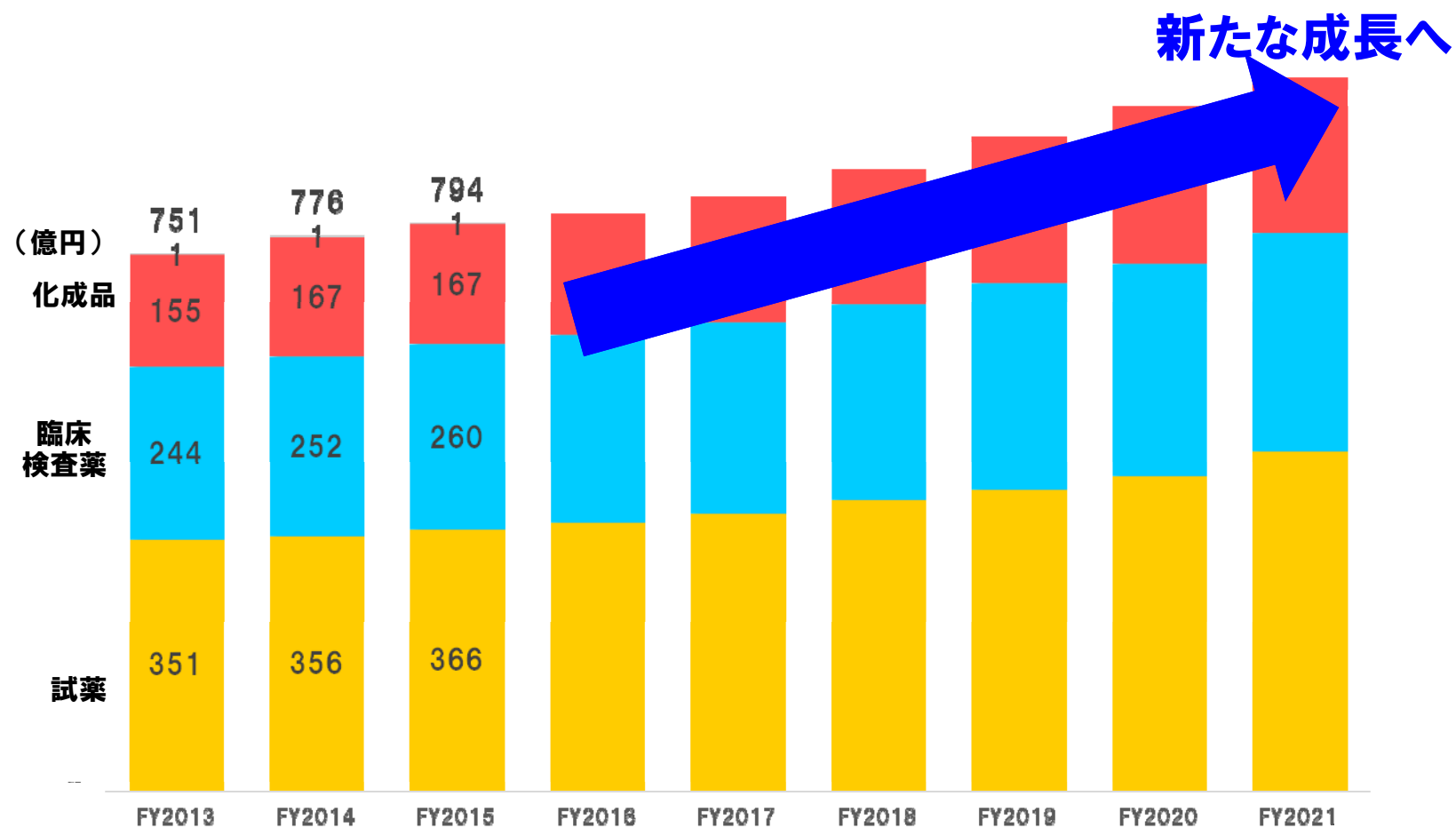
本買収の概要

- ①買収方法： 富士フィルムによる和光純薬工業株式の公開買付け
- ②買付け価格： 1株当たり8,535円
- ③公開買付け総額： 約1,547億円(予定)
- ④今後のスケジュール(予定):
 - 2/27～4/3 和光純薬工業株式の公開買付け実施
 - 4/21 和光純薬工業株式の取得(連結子会社化)

本公開買付けが成立した場合には、和光純薬は富士フィルムホールディングスの連結子会社となりますが、本公開買付けの決済の開始日は平成29年4月21日を予定しているため、富士フィルムホールディングスの2016年度の連結業績に与える影響はありません。
2017年度(来年度)の連結業績に与える影響については、詳細が確定次第、お知らせいたします。

買収後の和光純薬工業の売上目標

2021年度に売上高1,000億円超を目指す



FUJIFILM
Value from Innovation